

大田区都市計画マスタープラン改定に向けた

アンケート調査（速報）

報告書

令和3年6月

大田区

I. 調査の概要

1. 調査の目的

- ・大田区の都市マスタープラン改定に関する区民の意向を収集し、地域別方針へ区民の視点を反映することにより、地域の特性や課題を捉えた具体性のある将来ビジョンの構築につなげる。

2. 調査の内容

- ・設問1 大田区全体のまちづくりについての満足度
- ・設問2 お住まいの地域のまちづくりの方向性についての重要度
- ・設問3 自由意見
- ・設問4 属性

3. 調査方法

(1) 無作為抽出によるアンケート（以下、無作為）

- ・調査地域：大田区全域
- ・調査対象：大田区在住の満18歳以上の男女
- ・標本数：2,000人
- ・調査方法：郵送配布、郵送・Web回収

(2) 協力団体へのアンケート（以下、協力団体）

- ・調査地域：大田区全域
- ・協力団体：自治会・町会／障がい者団体／まちづくり協議会／商店街連合／工業連合／青年会議所
- ・調査方法：郵送・Web・直接配布、郵送・Web回収

(3) 自由応募アンケート（以下、自由応募）

- ・調査地域：公開（区内在住でなくても回答可能）
- ・調査対象：公開（年齢、性別不問）
- ・調査方法：大田区ホームページにて公開、Web回収

4. 調査対象者の抽出

- ・母集団・・・・・・・・・・・・・・・・大田区住民基本台帳上の満18歳以上の男女

5. 調査期間

- ・無作為：令和3年4月2日（金）～4月19日（月）
- ・協力団体：令和3年4月2日（金）～4月26日（月）
- ・自由応募：令和3年4月2日（水）～4月26日（月）

6. 回収結果

- ・無作為は2,000 サンプルを抽出し、有効回収数 612 サンプル(回収率 30.6%)であった。
- ・回収結果内訳については次の通りである。
- ・本報告書は(1) 無作為(2) 協力団体(3) 自由応募、の各結果についてとりまとめた。

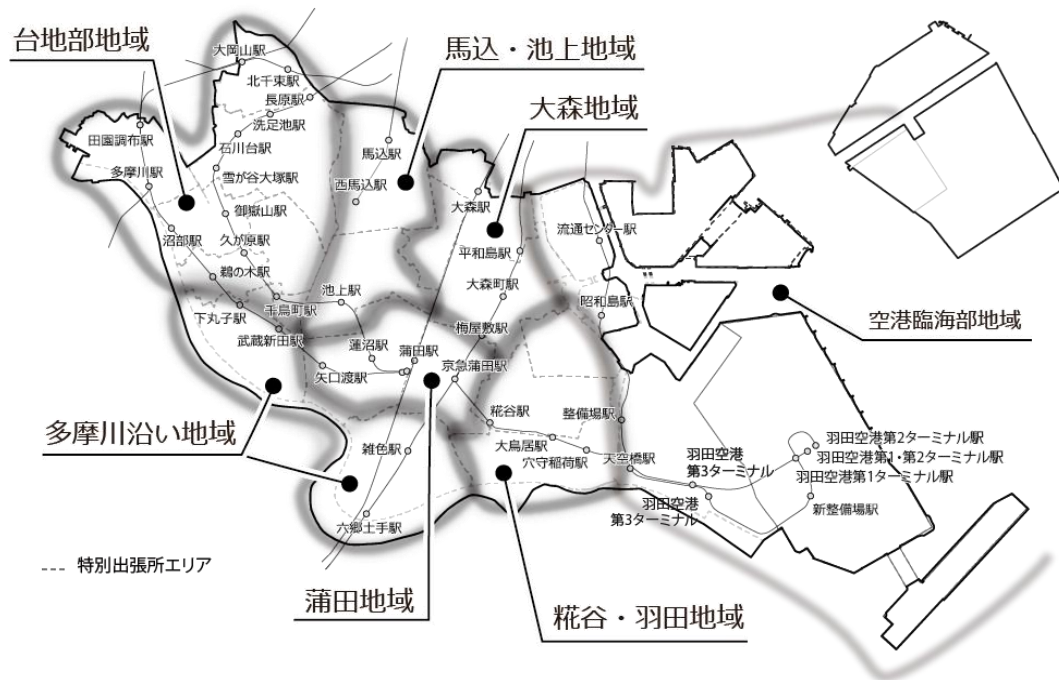
	標本	紙面回答 有効回答 数	Web 回答 有効回答 数	全数 (無作為 +協力団体 +自由応募)	無作為 有効回答数 (有効回答率)	協力団体 有効回答数 (有効回答率)	自由応募 有効回答数 (有効回答率)
全体	2,000	668	699	1,367	612	205	550
台地部地域	511	178	180	358	168 (27.5%)	45 (22.0%)	145 (26.4%)
馬込・池上 地域	277	95	117	212	90 (14.7%)	26 (12.7%)	96 (17.5%)
大森地域	339	110	114	224	95 (15.5%)	34 (16.6%)	95 (17.3%)
蒲田地域	303	99	118	217	87 (14.2%)	36 (17.6%)	94 (17.1%)
多摩川沿い 地域	302	109	98	207	102 (16.7%)	31 (15.1%)	74 (13.5%)
糀谷・羽田 地域	268	69	62	131	70 (11.4%)	22 (10.7%)	39 (7.1%)
無効回答	-	2	7	9	0 (0.0%)	2 (1.0%)	7 (1.3%)
無回答	-	6	3	9	0 (0.0%)	9 (4.4%)	0 (0.0%)

図表 I -1 地域別回収数・有効回収率

	自治会・ 町会	障がい者 団体	まちづくり 協議会	商店街連合	工業連合	青年会議所
回収数	137	14	16	11	19	8

図表 I -2 協力団体別回収数

- ・地域別分析に用いた回答者の居住地域の地域区分は次の通りである。



図表 I -2 地域区分図

地域	該当町丁目
台地部地域	鶉の木1～3丁目、久が原1～6丁目、上池台1～5丁目、西嶺町、石川町1丁目、石川町2丁目、雪谷大塚町、千鳥1丁目、千鳥2丁目、仲池上1丁目、仲池上2丁目、田園調布1丁目、田園調布2丁目、田園調布4丁目、田園調布5丁目、田園調布南、田園調布本町、東雪谷1～5丁目、東嶺町、南久が原1丁目、南久が原2丁目、南雪谷
馬込・池上地域	西馬込1丁目、西馬込2丁目、池上1～8丁目、中央5～8丁目、中馬込1～3丁目、東馬込1丁目、東馬込2丁目、南馬込1～6丁目、北馬込1丁目、北馬込2丁目
大森地域	山王1～4丁目、大森西1～7丁目、大森中1～3丁目、大森東1～3丁目、大森北1～6丁目、大森本町1丁目、大森本町2丁目、中央1～4丁目
蒲田地域	蒲田1～5丁目、蒲田本町1丁目、蒲田本町2丁目、新蒲田1～3丁目、西蒲田1～8丁目、多摩川1丁目、多摩川2丁目、東蒲田1丁目、東蒲田2丁目、東矢口1～3丁目、南矢口1、2丁目
多摩川沿い地域	下丸子1～4丁目、西六郷1～4丁目、千鳥3丁目、仲六郷1～4丁目、東六郷1～3丁目、南六郷1～3丁目、矢口1～3丁目
糎谷・羽田地域	羽田1～6丁目、西糎谷1～4丁目、大森東4丁目、大森東5丁目、大森南1～5丁目、東糎谷1～3丁目、東糎谷5丁目、萩中1～3丁目、北糎谷1丁目、北糎谷2丁目、本羽田1～3丁目

図表 I -3 地域・町丁目対応表

7. 摘要と標本誤差

- すべての集計表は、小数点第2位を四捨五入している。
- 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を基礎(n)として算出した。したがって、複数の回答の設問のすべての比率は合計すると 100%にならないことがある。
- 図、表中の数字で、その項目に該当する回答がまったくないものは「0」と示す。
- 標本誤差は次の式によって得られ、標本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下表のとおりである。標本誤差の幅は、①比率算出の基礎(n)、②回答比率(p)によって異なる。

$$S.E. = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

ただし、S.E.=標本誤差

N=母集団(大田区の世帯数)

n=回収数

p=回答率

であり、この式は標本誤差を信頼度 95%で算出している。

回収数	回答率					
	50%	40%又は60%	30%又は70%	20%又は80%	10%又は90%	5%又は95%
612	4.0%	3.9%	3.7%	3.2%	2.4%	1.8%

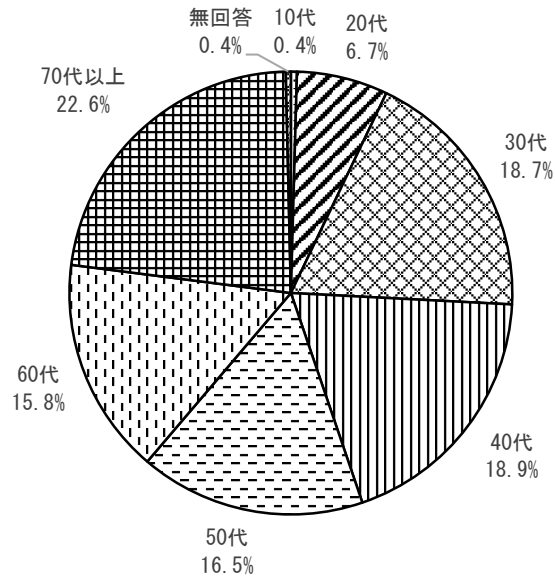
図表 I-4 誤差率

- 上記の誤差率は、各設問における、各選択肢の解答率に応じた標本誤差の大きさを表しており、本調査の回収数は612サンプルであったため、誤差が最も大きくなる回答率50%の場合の標本誤差が4.0%となっている。
- すなわち、ある設問における特定の選択肢の回答率が50%であった場合、予想される母集団の回答率と今回のサンプルの回答率の誤差は±4.0%の範囲内におさまると考えられる。

Ⅱ. サンプル（調査回答者）特性

①年齢

問1. あなたの年齢は次のうちどれにあたりますか。(n=1,367)

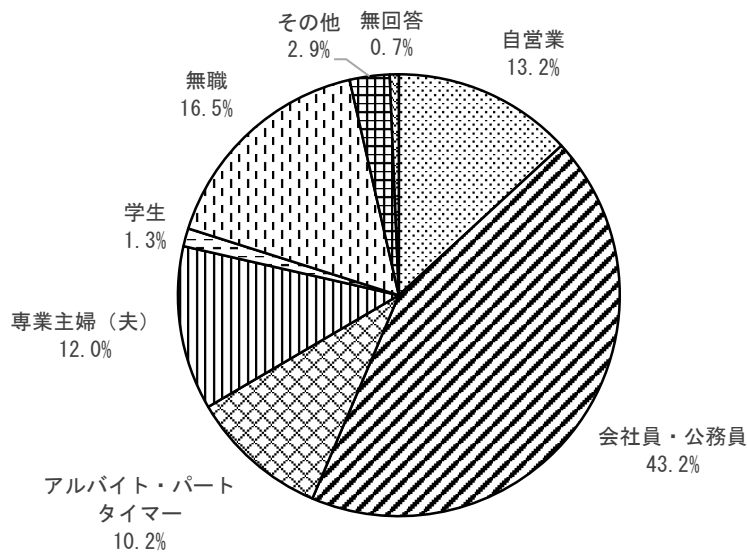


図表Ⅱ-1 年齢

- ・年齢を尋ねたところ、「70代」(22.6%)、「40代」(18.9%)が2割程度を示している。一方で、「10代」(0.4%)が最も少ない。

②職業

問2. あなたのご職業は次のうちどれにあたりますか。(n=1,367)

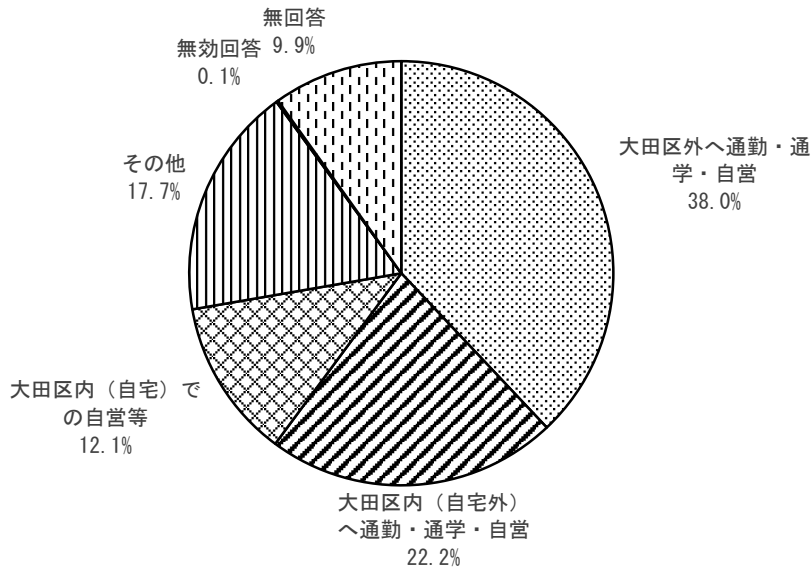


図表Ⅱ-2 職業

- ・職業について尋ねたところ、「会社員・公務員」(43.2%)が4割を超え最も多く、次いで「無職」(16.5%)、「自営業」(13.2%)などの順になっている。

③通勤・通学地

問3. あなたの通勤・通学地は次のうちどれにあたりますか。(n=1,367)

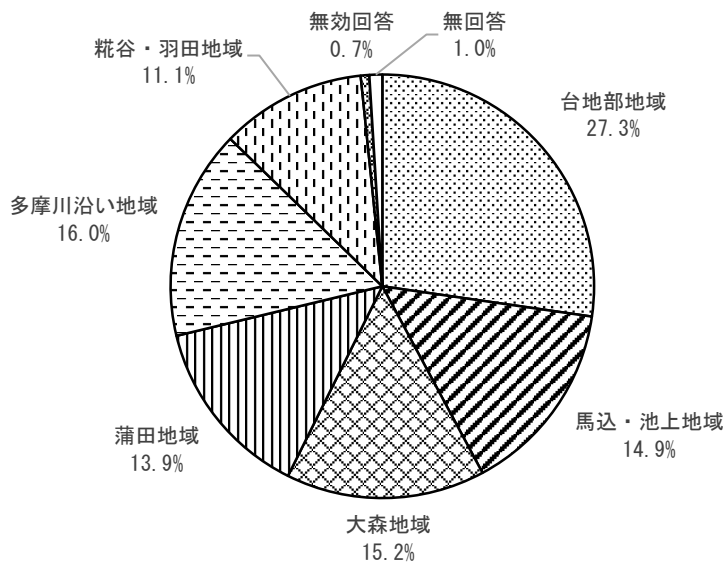


図表Ⅱ-3 通勤・通学地

・通勤・通学地について尋ねたところ、「大田区外へ通勤・通学・自営」(38.0%)が4割弱となり最も多く、次いで「大田区内（自宅外）へ通勤・通学・自営」(22.2%)、「大田区内（自宅）での自営等」(12.1%)などの順になっている。

④居住地域

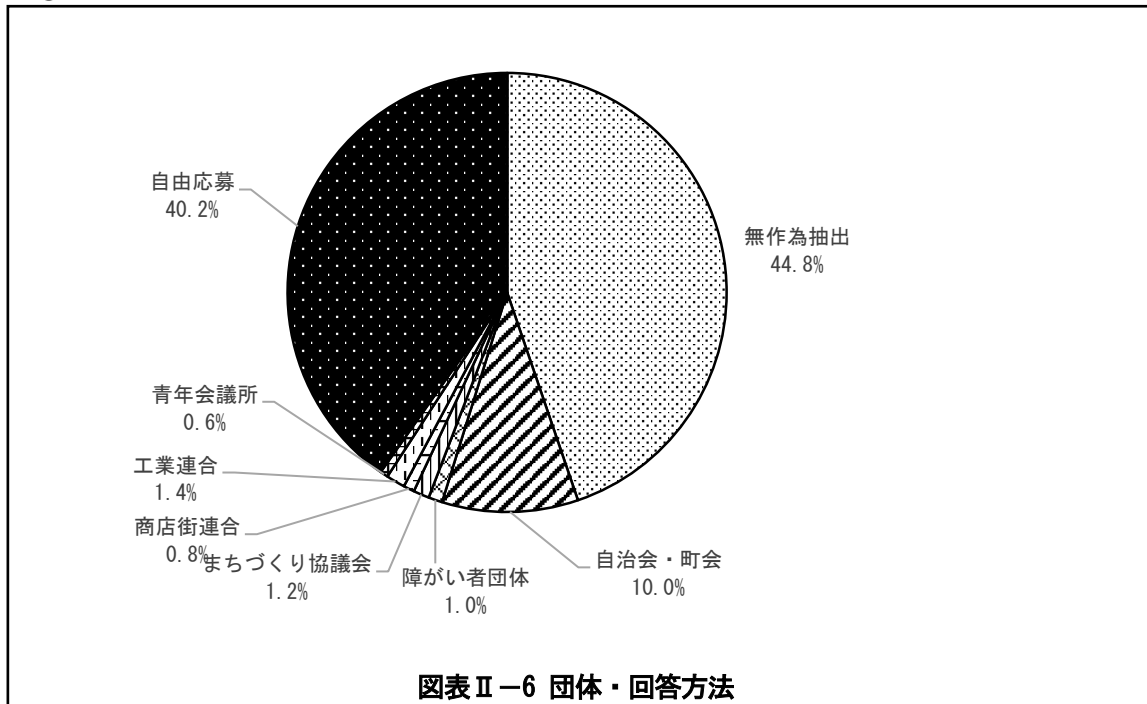
問4. あなたのお住まいを教えてください。(n=1,367)



図表Ⅱ-5 居住地域

・居住地域について尋ねたところ、「台地部地域」(27.3%)が3割弱となり最も多い。次いで「多摩川沿い地域」(16.0%)、「馬込・池上地域」(14.9%)と続いている。

⑤団体・回答方法



- ・回答団体・回答方法では、「無作為抽出」(44.8%)「自由応募」がそれぞれ4割を超えた。次いで自治会町会」(10.0%)と続いている。

Ⅲ. 調査結果（概要）

1. 大田区全体のまちづくりについての満足度

■無作為抽出における満足度 (n=612)

最も満足度の高い項目

活力・国際性について

満足度平均 49.9%

日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できる	30.4%
国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している	58.8%
人が集まる交流・滞在空間が充実している	38.6%
区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している	49.0%
大田区内外への移動が便利である	83.8%
来訪者が大田区内を巡って魅力を楽しめる	39.1%

暮らしやすさ・生活の質について

満足度平均 66.6%

住む場所と働く場所がバランス良くある	39.1%
幅広い年代の人が暮らしやすく、生活に必要な施設がある	70.8%
商店街に人が集まりにぎわっている	70.1%
良好なまちなみ・景色が整っている	60.0%
区内を移動するための公共交通が充実している	58.8%
快適で歩きたくなる空間がある	74.3%

安全・安心について

満足度平均 44.2%

風水害・土砂災害への対策がしっかりしている	50.5%
災害時の危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている	33.7%
災害時に有効に救助や避難できる道路や施設が整備されている	38.7%
地域の防災・防犯活動が充実している	43.0%
災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている	55.2%

環境配慮について

満足度平均 48.7%

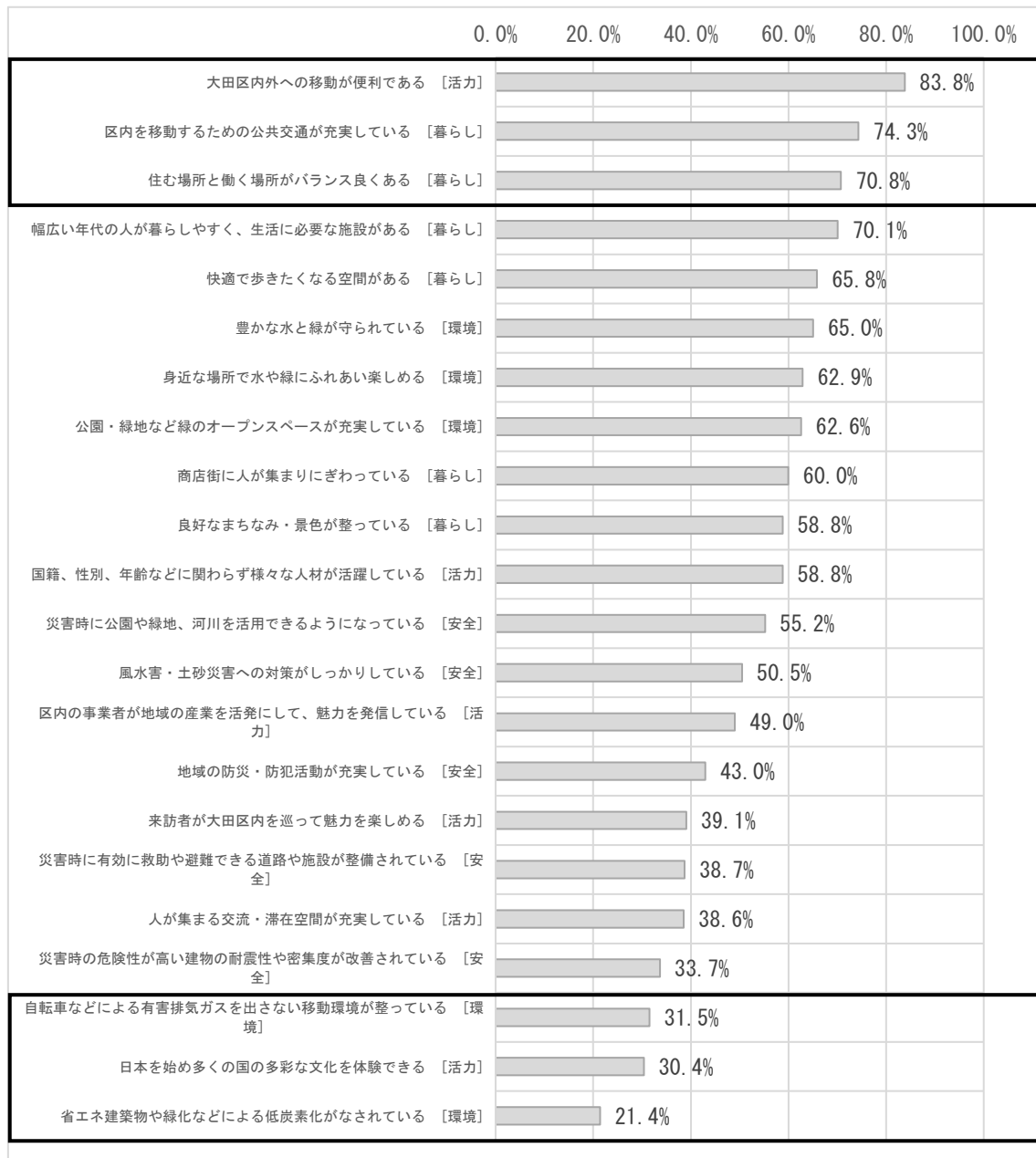
豊かな水と緑が守られている	65.0%
公園・緑地など緑のオープンスペースが充実している	62.6%
身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる	62.9%
自転車などによる有害排気ガスを出さない移動環境が整っている	31.5%
省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている	21.4%

・無作為抽出における満足度の高い項目

- 「大田区内外への移動が便利である」(83.8%)
- 「区内を移動するための公共交通が充実している」(74.3%)
- 「住む場所と働く場所がバランス良くある」(70.8%)

・無作為抽出における満足度の低い項目

- 「省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている」(21.4%)
- 「日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できる」(30.4%)
- 「自転車などによる有害排気ガスを出さない移動環境が整っている」(31.5%)



[活力]…活力・国際性について
[環境]…環境配慮について

[暮らし]…暮らしやすさ・生活の質について
[安全]…安全・安心について

■協力団体における満足度 (n=205)

最も満足度の高い項目

活力・国際性について

満足度平均 56.7%

日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できる	44.4%
国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している	63.4%
人が集まる交流・滞在空間が充実している	44.4%
区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している	55.1%
大田区内外への移動が便利である	82.9%
来訪者が大田区内を巡って魅力を楽しめる	50.2%

暮らしやすさ・生活の質について

満足度平均 68.3%

住む場所と働く場所がバランス良くある	78.5%
幅広い年代の人が暮らしやすく、生活に必要な施設がある	74.6%
商店街に人が集まりにぎわっている	51.7%
良好なまちなみ・景色が整っている	57.6%
区内を移動するための公共交通が充実している	76.6%
快適で歩きたくなる空間がある	70.7%

安全・安心について

満足度平均 50.9%

風水害・土砂災害への対策がしっかりしている	55.6%
災害時の危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている	39.5%
災害時に有効に救助や避難できる道路や施設が整備されている	40.0%
地域の防災・防犯活動が充実している	64.4%
災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている	55.1%

環境配慮について

満足度平均 54.1%

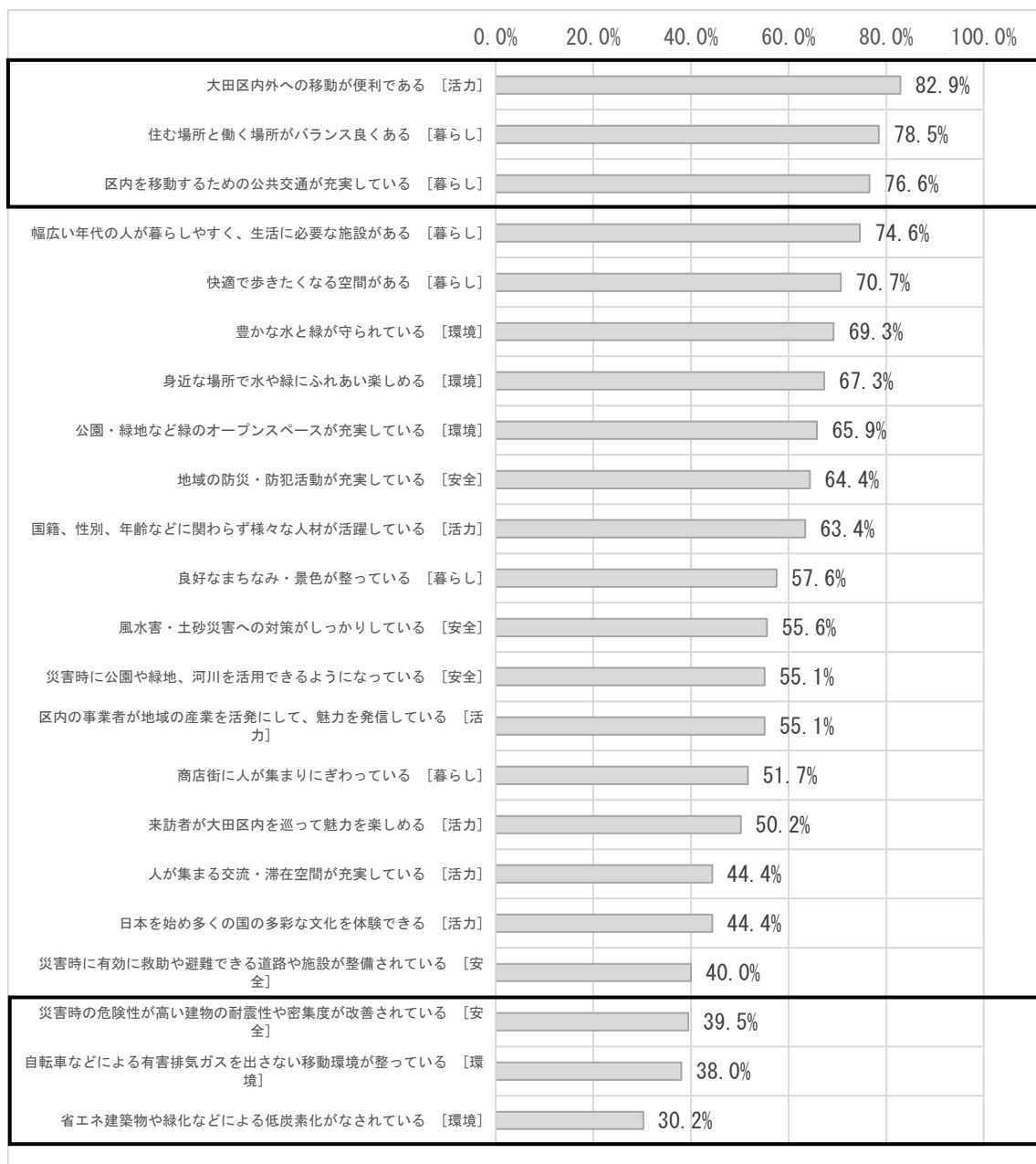
豊かな水と緑が守られている	69.3%
公園・緑地など緑のオープンスペースが充実している	65.9%
身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる	67.3%
自転車などによる有害排気ガスを出さない移動環境が整っている	38.0%
省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている	30.2%

・協力団体における満足度の高い項目

- 「大田区内外への移動が便利である」(82.9%)
- 「住む場所と働く場所がバランス良くある」(78.5%)
- 「区内を移動するための公共交通が充実している」(76.6%)

・協力団体における満足度の低い項目

- 「省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている」(30.2%)
- 「自転車などによる有害排気ガスを出さない移動環境が整っている」(38.0%)
- 「災害時の危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている」(39.5%)



[活力]…活力・国際性について [暮らし]…暮らしやすさ・生活の質について
 [環境]…環境配慮について [安全]…安全・安心について

■自由応募の満足度 (n=550)

最も満足度の高い項目

活力・国際性について

満足度平均 51.8%

日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できる	37.1%
国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している	62.4%
人が集まる交流・滞在空間が充実している	40.0%
区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している	52.2%
大田区内外への移動が便利である	79.8%
来訪者が大田区内を巡って魅力を楽しめる	39.3%

暮らしやすさ・生活の質について

満足度平均 61.9%

住む場所と働く場所がバランス良くある	72.2%
幅広い年代の人が暮らしやすく、生活に必要な施設がある	67.8%
商店街に人が集まりにぎわっている	52.5%
良好なまちなみ・景色が整っている	54.9%
区内を移動するための公共交通が充実している	63.8%
快適で歩きたくなる空間がある	60.4%

安全・安心について

満足度平均 40.1%

風水害・土砂災害への対策がしっかりしている	47.6%
災害時の危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている	31.5%
災害時に有効に救助や避難できる道路や施設が整備されている	34.4%
地域の防災・防犯活動が充実している	36.4%
災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている	50.5%

環境配慮について

満足度平均 48.6%

豊かな水と緑が守られている	66.2%
公園・緑地など緑のオープンスペースが充実している	63.5%
身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる	65.1%
自転車などによる有害排気ガスを出さない移動環境が整っている	30.5%
省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている	17.8%

・自由応募における満足度の高い項目

「大田区内外への移動が便利である (79.8%)

「住む場所と働く場所がバランス良くある」(72.2%)

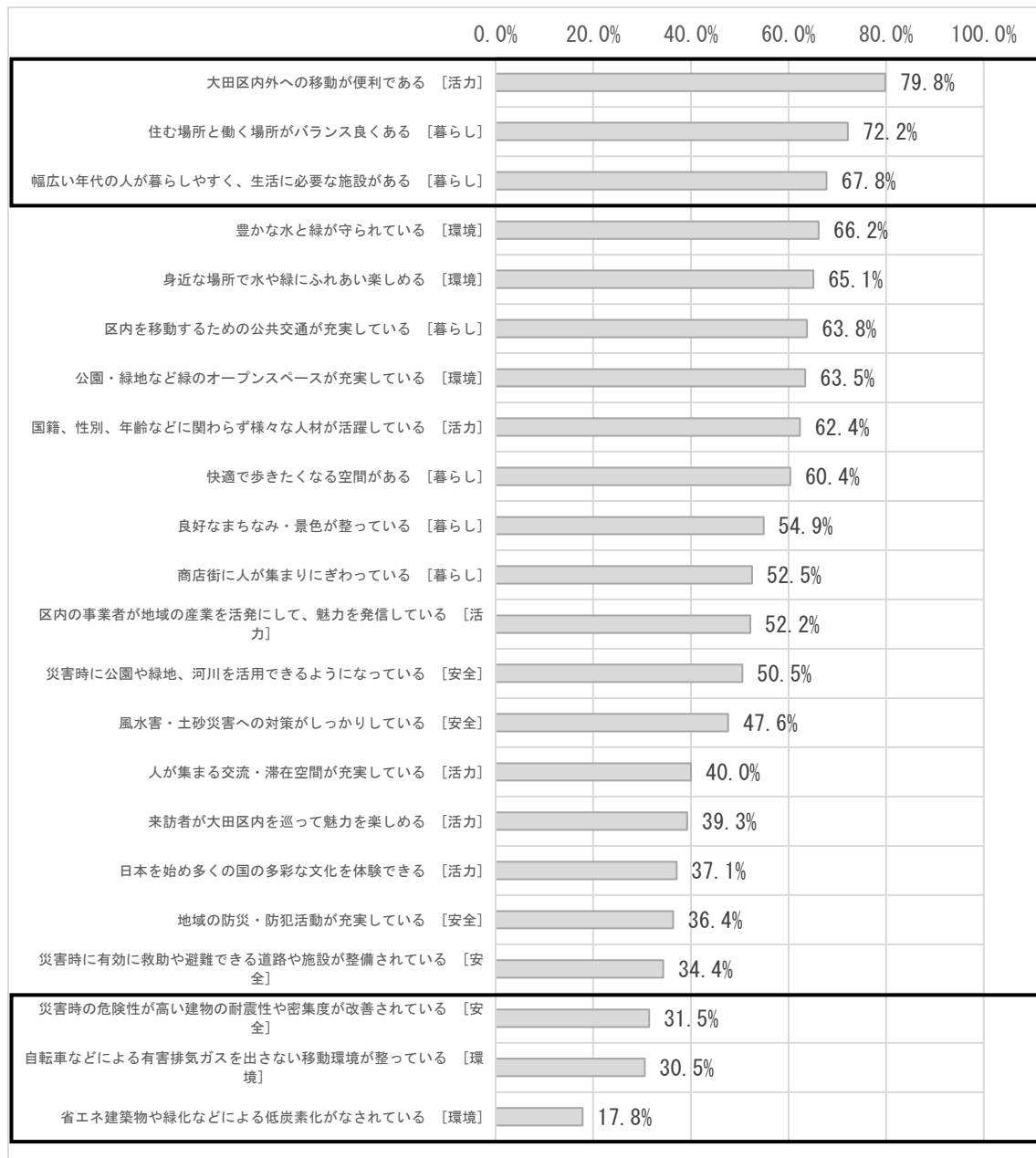
「幅広い年代の人が暮らしやすく、生活に必要な施設がある」(67.8%)

・自由応募における満足度の低い項目

「省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている」(17.8%)

「自転車などによる有害排気ガスを出さない移動環境が整っている」(30.5%)

「災害時の危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている」(31.5%)



[活力]…活力・国際性について
[環境]…環境配慮について

[暮らし]…暮らしやすさ・生活の質について
[安全]…安全・安心について

2. お住まいの地域のまちづくりの方向性についての重要度

最も重要度の高い項目

■活力・国際性についての重要度

様々な主体の連携したまちづくりの重要度が高く、多文化共生のまちづくりの重要度は低い。

	平均値	重要度が最も高い項目		重要度が最も低い項目	
無作為 (n=612)	72.8%	区と様々な主体が連携するまちづくり推進（商店街や工場、交通事業者、大学など）	81.2%	多文化共生のまちづくりの推進（外国人の居住促進、宿泊施設や多言語対応の充実など）	58.5%
協力団体 (n=205)	78.3%	地域の資源を観光資源として活用（歴史文化施設、公園、商店街、ものづくり産業など）	85.9%	多文化共生のまちづくりの推進（外国人の居住促進、宿泊施設や多言語対応の充実など）	72.7%
自由応募 (n=550)	77.5%	区と様々な主体が連携するまちづくり推進（商店街や工場、交通事業者、大学など）	86.0%	多文化共生のまちづくりの推進（外国人の居住促進、宿泊施設や多言語対応の充実など）	61.8%

■暮らしやすさ・生活の質についての重要度

駅周辺の利便性向上の重要度が高く、地域のまちづくりへの参加機会の重要度が低い。

	平均値	重要度が最も高い項目		重要度が最も低い項目	
無作為 (n=612)	84.0%	駅周辺や商店街などの生活利便性向上（福祉、医療、子育て等の機能集積や、公共施設の充実など）	93.5%	地域のまちづくりへの参加機会創出	67.3%
協力団体 (n=205)	89.2%	駅周辺や商店街などの生活利便性向上（福祉、医療、子育て等の機能集積や、公共施設の充実など）	92.7%	地域のまちづくりへの参加機会創出	84.9%
自由応募 (n=550)	87.3%	駅周辺や商店街などの生活利便性向上（福祉、医療、子育て等の機能集積や、公共施設の充実など）	96.2%	地域のまちづくりへの参加機会創出	77.6%

■安全・安心についての重要度

いずれの項目も90%以上と重要度が高い。特に、避難場所・経路の重要度が高い。

	平均値	重要度が最も高い項目		重要度が最も低い項目	
無作為 (n=612)	92.4%	避難場所や安全な避難経路の確保	94.6%	災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり	90.4%
協力団体 (n=205)	93.5%	避難場所や安全な避難経路の確保 災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり	95.1%	災害時でも利用できるエネルギーの確保（自立して利用できるエネルギーシステムの構築、蓄電池等の導入など）	90.7%
無作為 (n=612)	94.6%	市街地の安全対策の推進（建築物の不燃化耐震化、幅の狭い道路の改善、崖地の安全対策など）	96.5%	災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり	92.2%

■環境配慮についての重要度

河川沿いの公園や緑環境の重要度が高く、環境性能の高い移動手段の重要度が低い。

	平均値	重要度が最も高い項目		重要度が最も低い項目	
無作為 (n=612)	86.8%	河川沿いや公園などの緑環境の保全	92.5%	環境性能の高い交通手段の利用促進（コミュニティサイクルポートや電気自動車の充電スタンドの充実など）	78.6%
協力団体 (n=205)	89.3%	河川沿いや公園などの緑環境の保全	95.1%	環境性能の高い交通手段の利用促進（コミュニティサイクルポートや電気自動車の充電スタンドの充実など）	83.4%
自由応募 (n=550)	90.1%	河川沿いや公園などの緑環境の保全	93.3%	環境性能の高い交通手段の利用促進（コミュニティサイクルポートや電気自動車の充電スタンドの充実など）	86.2%

地域別重要度

最も重要度の高い項目

■台地部地域の重要度 (n=358)

災害時の避難場所・避難経路・エネルギーの確保や、河川沿いの公園や緑環境の保全等の重要度が高い。一方、多文化共生のまちづくりやまちづくりへの参画機会、最新技術を活用したまちづくり等の重要度が比較的低い。

地域名	平均値	重要度が高い項目	重要度が低い項目		
無作為 (n=168)	85.2%	避難場所や安全な避難経路の確保	97.0%	多文化共生のまちづくりの推進	60.7%
		市街地の安全対策の推進	96.4%	地域のまちづくりへの参加機会創出	66.1%
		災害時でも利用できるエネルギーの確保	95.2%	快適性向上などに向けた、AIやビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	69.0%
協力団体 (n=45)	88.1%	災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり	100.0%	来訪者を惹きつける駅周辺などのにぎわい創出	73.3%
		河川沿いや公園などの緑環境の保全	97.8%	多文化共生のまちづくりの推進	75.6%
		市街地の安全対策の推進		観光に資する交通環境の整備	
		浸水想定地域の水害対策		職住近接を主とした働く場の創出	
		避難場所や安全な避難経路の確保	95.6%		77.8%
自由応募 (n=145)	86.7%	快適な歩行空間や自転車走行環境の確保			
		災害時でも利用できるエネルギーの確保	97.2%	多文化共生のまちづくりの推進	62.1%
		浸水想定地域の水害対策、市街地の安全対策の推進	95.2%	自転車などによる有害排気ガスを出さない移動環境が整っている	71.7%
		駅周辺や商店街などの生活利便性向上			
		河川沿いや公園などの緑環境の保全	93.8%	災害時の危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている	76.6%
		避難場所や安全な避難経路の確保			

■馬込・池上地域の重要度 (n=212)

緑や公園の保全・創出や災害時の避難場所・避難経路、駅周辺の利便性等の重要度が高い。一方、多文化共生のまちづくりや最新技術を活用したまちづくり、職住近接の働く場の創出、観光に資する整備等の重要度が比較的低い。

地域名	平均値	重要度が高い項目	重要度が低い項目	
無作為 (n=90)	81.1%	大田区内外への移動が便利である	多文化共生のまちづくりの推進 48.9%	
		まちなみの身近な緑の保全・創出	93.3%	快適性向上などに向けた、AIやビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり 64.4%
		浸水想定地域の水害対策	92.2%	職住近接を主とした働く場の創出 65.6%
		市街地の安全対策の推進	91.1%	
		避難場所や安全な避難経路の確保		
		災害時でも利用できるエネルギーの確保		
駅周辺や商店街などの生活利便性向上				
協力団体 (n=26)	56.8%	まちなみの身近な緑の保全・創出	多文化共生のまちづくりの推進 65.4%	
		河川沿いや公園などの緑環境の保全	100.0%	職住近接を主とした働く場の創出
		水辺やみどり、歴史文化と親しめる憩いの場の形成	96.2%	来訪者を惹きつける駅周辺などのにぎわい創出 69.2%
		避難場所や安全な避難経路の確保		快適性向上などに向けた、AIやビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり
		公園緑地のさらなる利活用	96.2%	地域のまちづくりへの参加機会創出 73.1%
		浸水想定地域の水害対策		
		災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり		
		市街地の安全対策の推進		
		地域の個性や歴史を活かしたまちなみ・景観づくり		
		ユニバーサルデザインの推進による誰もが安心して快適に過ごせる都市空間の形成		
駅周辺や商店街などの生活利便性向上				
自由応募 (n=96)	84.9%	大田区内外への移動が便利である	多文化共生のまちづくりの推進 52.1%	
		災害時でも利用できるエネルギーの確保	97.9%	職住近接を主とした働く場の創出 74.0%
		避難場所や安全な避難経路の確保	95.8%	来訪者を惹きつける駅周辺などのにぎわい創出
		駅周辺や商店街などの生活利便性向上	94.8%	観光に資する交通環境の整備 75.0%
		駅周辺など人の集まる場所での防災性向上		地域のまちづくりへの参加機会創出

■大森地域の重要度 (n=224)

災害時の避難経路や駅周辺の利便性・防災性、車両交通の円滑化等の重要度が高い。一方、多文化共生のまちづくりや最新技術を活用したまちづくり、まちづくりへの参画機会等の重要度が低い。

地域名	平均値	重要度が高い項目		重要度が低い項目	
無作為 (n=95)	80.1%	避難場所や安全な避難経路の確保	92.6%	多文化共生のまちづくりの推進	60.0%
		駅周辺など人の集まる場所での防災性向上	91.6%	快適性向上などに向けた、AIやビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	66.3%
		駅周辺や商店街などの生活利便性向上	90.5%	地域のまちづくりへの参加機会創出	67.4%
協力団体 (n=34)	81.2%	車両交通の円滑化	97.1%	多文化共生のまちづくりの推進	61.8%
		避難場所や安全な避難経路の確保	91.2%	快適性向上などに向けた、AIやビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	
		駅周辺や商店街などの生活利便性向上		来訪者を惹きつける駅周辺などにぎわい創出	70.6%
		浸水想定地域の水害対策	88.2%	観光に資する交通環境の整備	73.5%
		災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり		地域の個性や歴史を活かしたまちなみ・景観づくり	
		公共交通の利便性向上		環境性能の優れた建築物等への誘導	
自由応募 (n=95)	88.2%	市街地の安全対策の推進	98.9%	多文化共生のまちづくりの推進	62.1%
		災害時でも利用できるエネルギーの確保	97.9%	快適性向上などに向けた、AIやビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	74.7%
		駅周辺や商店街などの生活利便性向上		地域のまちづくりへの参加機会創出	
		避難場所や安全な避難経路の確保	95.8%	来訪者を惹きつける駅周辺などにぎわい創出	76.8%

最も重要度の高い項目

■蒲田地域の重要度 (n=217)

駅周辺の利便性・防災性や市街地の安全性、歩行空間や自転車走行環境の確保等の重要度が高い。一方、最新技術を活用したまちづくりやまちづくりへの参加機会、多文化共生のまちづくり等の重要度は比較的低い。

地域名	平均値	重要度が高い項目		重要度が低い項目	
無作為 (n=87)	84.3%	駅周辺や商店街などの生活利便性向上	97.7%	地域のまちづくりへの参加機会創出	64.4%
		避難場所や安全な避難経路の確保	95.4%	多文化共生のまちづくりの推進	65.5%
		快適な歩行空間や自転車走行環境の確保		快適性向上などに向けた、AIやビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	70.1%
		浸水想定地域の水害対策	94.3%		
協力団体 (n=36)	85.4%	浸水想定地域の水害対策	97.2%	快適性向上などに向けた、AIやビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	63.9%
		駅周辺など人の集まる場所での防災性向上		職住近接を主とした働く場の創出	66.7%
		市街地の安全対策の推進		来訪者を惹きつける駅周辺などのにぎわい創出	
		河川沿いや公園などの緑環境の保全	94.4%	多文化共生のまちづくりの推進	72.2%
		災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり			
		避難場所や安全な避難経路の確保			
		災害時でも利用できるエネルギーの確保			
公共交通の利便性向上	91.7%				
自由応募 (n=94)	88.1%	駅周辺や商店街などの生活利便性向上	97.9%	多文化共生のまちづくりの推進	68.1%
		市街地の安全対策の推進		快適性向上などに向けた、AIやビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	71.3%
		浸水想定地域の水害対策	96.8%	自転車などによる有害排気ガスを出さない移動環境が整っている	
		災害時でも利用できるエネルギーの確保		車両交通の円滑化	75.5%
		避難場所や安全な避難経路の確保			
河川沿いや公園などの緑環境の保全	94.7%				

■多摩川沿い地域の重要度 (n=207)

河川沿いや公園などの緑環境の保全、歴史文化と親しめる憩いの場の形成、水害対策、市街地の安全対策等の重要度が高い。一方、多文化共生のまちづくりや最新技術を活用したまちづくり、まちづくりへの参画機会、来訪者を惹きつけるにぎわい等の重要度は比較的低い。

地域名	平均値	重要度が高い項目	重要度が低い項目		
無作為 (n=102)	85.2%	市街地の安全対策の推進	97.1%	多文化共生のまちづくりの推進	59.8%
		浸水想定地域の水害対策		快適性向上などに向けた、AI やビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	62.7%
		避難場所や安全な避難経路の確保	96.1%	地域のまちづくりへの参加機会創出	68.8%
		災害時でも利用できるエネルギーの確保	95.1%		
		災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり			
協力団体 (n=31)	92.3%	河川沿いや公園などの緑環境の保全	100.0%	快適性向上などに向けた、AI やビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり [活力]	71.0%
		水辺やみどり、歴史文化と親しめる憩いの場の形成		来訪者を惹きつける駅周辺などのにぎわい創出	80.6%
		公園緑地のさらなる利活用	96.8%	多文化共生のまちづくりの推進	83.9%
		まちなみの身近な緑の保全・創出		職住近接を主とした働く場の創出	
		浸水想定地域の水害対策			
		災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり			
		避難場所や安全な避難経路の確保			
		市街地の安全対策の推進			
		地域の個性や歴史を活かしたまちなみ・景観づくり			
		公共交通の利便性向上			
		駅周辺や商店街などの生活利便性向上			
自由応募 (n=74)	86.2%	まちなみの身近な緑の保全・創出	95.9%		多文化共生のまちづくりの推進
		河川沿いや公園などの緑環境の保全		地域のまちづくりへの参加機会創出	74.3%
		駅周辺や商店街などの生活利便性向上	94.6%	快適性向上などに向けた、AI やビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	75.7%
		避難場所や安全な避難経路の確保	93.2%		
		駅周辺など人の集まる場所での防災性向上			

■ 梶谷・羽田地域の重要度 (n=131)

水辺や緑環境、緑のオープンスペースの充実・保全や、水害対策、歩行者空間やユニバーサルデザインの推進等の重要度が高い。一方、多文化共生のまちづくり、最新技術を活用したまちづくり、職住近接、観光に資する交通環境の整備の重要度が比較的低い。

地域名	平均値	重要度が高い項目		重要度が低い項目		
無作為 (n=70)	84.3%	浸水想定地域の水害対策	95.7%	多文化共生のまちづくりの推進	55.7%	
		避難場所や安全な避難経路の確保	92.9%	快適性向上などに向けた、AI やビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり	61.4%	
		河川沿いや公園などの緑環境の保全		91.4%		地域のまちづくりへの参加機会創出
		駅周辺など人の集まる場所での防災性向上				
		市街地の安全対策の推進				
駅周辺や商店街などの生活利便性向上						
協力団体 (n=22)	88.1%	身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる	95.5%	環境性能の高い交通手段の利用促進	72.7%	
		大田区内外への移動が便利である		77.3%	来訪者を惹きつける駅周辺などのにぎわい創出	
		快適で歩きたくなる空間がある			多文化共生のまちづくりの推進	
		公園・緑地など緑のオープンスペースが充実している	90.9%	職住近接を主とした働く場の創出	81.8%	
		豊かな水と緑が守られている		快適な歩行空間や自転車走行環境の確保		
		避難場所や安全な避難経路の確保		90.9%		
		地域の個性や歴史を活かしたまちなみ・景観づくり				
		浸水想定地域の水害対策				
		災害時やその後の復興時も助け合える組織づくり				
		駅周辺など人の集まる場所での防災性向上				
		ユニバーサルデザインの推進による誰もが安心して快適に過ごせる都市空間の形成				
		地域のまちづくりへの参加機会創出				
		公共交通の利便性向上				
		快適性向上などに向けた、AI やビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり				
自由応募 (n=39)	89.3%	河川沿いや公園などの緑環境の保全	100.0%		多文化共生のまちづくりの推進	
		水辺やみどり、歴史文化と親しめる憩いの場の形成		74.4%	観光に資する交通環境の整備	
		浸水想定地域の水害対策			職住近接を主とした働く場の創出	
		避難場所や安全な避難経路の確保		快適性向上などに向けた、AI やビッグデータなどの最新技術を活用したまちづくり		
		市街地の安全対策の推進		76.9%	地域の個性や歴史を活かしたまちなみ・景観づくり	
		公共交通の利便性向上				

3. 主な自由回答

■台地部地域の主な自由回答

公園・緑地の整備や災害に強いまちづくり等、基盤整備に関する意見が多かった。

公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川の緑地整備が遅い。 宝来公園の池ほりをしてほしい。 多摩川駅周辺の公園や河川敷の緑や自然をこのまま残してほしい。 ガスコンロが使える広場がもっとあったらよい。 せせらぎ公園の木をこれ以上、切らないでほしい。 校庭の緑化など、緑を増やしてほしい。
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川の護岸工事は、是非続けて欲しい。 台風、地震の津波の水害に対する（多摩川）対策をしっかりお願いしたい。
道路・歩行者空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> 沼部駅前の道が狭く危険を感じる。 洗足池駅のガード下の歩道が狭く、歩きにくい。 既にあるインフラの確かなメンテナンスにも力を入れてほしい。
駐車場・駐輪場の整備	<ul style="list-style-type: none"> 家の近所に駐車場が少ない為、車での移動が若干不便。 大田図書館の近くにそれなりの駐車できるスペースが欲しい。 電車が少なく、バスで補えない地域や時間帯に自転車で出掛けることが多く、一時利用駐輪場がない。
地域交流拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や性別、関係なく集まれるエリア（カフェやフリースペース）があると良い。 地域人々がコミュニケーションをとれる会議・集会場所が出来ればと思う。
住民参加のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 長年受け継がれてきた歴史や風土に裏打ちされたまちの個性をベースに市民自らが主体となることが必要。 区役所と住民（町会自治会、地区まちづくり協議会等）が協力して、普段から意見を出し合えるアイデアバンクを創設し協働管理・活用する。
交通ルール	<ul style="list-style-type: none"> 自転車でルールを守らない人の取締り、交通ルールの教育を強化して欲しい。
商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 駅近くに人を呼び込むお店を集めると街全体に活気が出るだろう。
子どもや高齢者のための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の方が安心して暮らせる環境づくり。高齢者が散歩などの時休めるように椅子などの設置。暗い時間に安全に移動できるように足元を照らす街路等を設置する等。
空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> 空き家があれば解体し、コインパーキングとして整備してほしい。 空き家の木が電線に触れているのをみると心配。
自転車道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ポールコーンの設置など、大通りでも自転車が安心して走行できる環境を整備してほしい。
新空港線の整備	<ul style="list-style-type: none"> JR 蒲田駅から直接羽田に行ける様にしてほしい。 国際化には蒲蒲線が必要。

■馬込・池上地域の主な自由回答

公園・緑地の整備や子育て支援施設等、子育て環境に関する意見が多かった。

公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフィス街にも緑があるちょっとしたスペースがあると良い。 ・ 広々と遊べる空間・公園がもっと欲しい。 ・ 緑と水辺空間が豊かな田園都市をめざすことにより自然災害を減ずることが期待される。
子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の増備等、子育て支援の体制をより充実させてほしい。 ・ 蒲田駅がもっと子連れに優しい場所になってほしい。フードコートや、屋内の子供の遊び場などがあると良い。 ・ 児童館や支援センターなどのサービスを受ける場所は充実しているが、自分たちで子育ての環境を作り出していける場所があったら良い。
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害・水害・地震等に備えて、避難路や施設、設備等をしっかり整えていくことが重要。 ・ 避難所になりうる場所が少なく、小学校施設があまりにも古すぎる。基本的に区の施設が少ない上に古いのが気になる。
防犯・治安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅街にも防犯カメラを増やし抑止力につなげる。 ・ 防災、老人、子供の見守りの拠点づくりが急務。
駐車場・駐輪場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大森駅周辺に駐輪場が少ないので増やしてもらいたい。 ・ 公園や駐輪場などが不足、あっても狭く汚く近寄り難い場所になっているので改善してほしい。
道路・歩行者空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅の TAXI 乗り場の高い段差を解消し、歩道橋をスロープにしてほしい。
子どもや高齢者のための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康寿命が続くような介護予防に取組める施設充実。 ・ 子供が子供らしく生きられる環境を守ってほしい。
商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の活性化 空き店舗の活用 誰でも気軽に集まれる場所を作って欲しい。
地域交流拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー乗り場、バス待ち出来るカフェなど人々が憩うスペース作りを希望。
無電柱化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中馬込は交通量が多く、子連れも多いので電柱の廃止などで歩行者通路を広くしてほしい。
公共交通網の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西馬込から蒲田や大森に出る公共交通機関が非常に不便、幼い子供を連れて行くのが非常に難しい。 ・ 大森東口、沢田通り、東邦医大通り、蒲田東、西口へ出て池上、大森東口循環のバスの運行をお願いしたい。
駅前・駅周辺の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 馬込駅近くの生活利便性向上。 ・ 西馬込駅周辺について、住人の多さに比して商業集積度が低いことが、街の魅力が上がらない要因だと思う。

■大森地域の主な自由回答

道路・歩行者空間の整備や子どもや高齢者のための環境づくり等、多世代が暮らしやすい整備に関する意見が多かった。

道路・歩行者空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすやベビーカーが通りやすい歩道に整備してほしい。 ・ 大森地域は歩道の整備がつきはぎで、ポコポコしており、ベビーカーでの移動が大変。 ・ アーケードも増やしてほしい。 ・ 特に駅前等に歩道・自転車道の整備をしてほしい。 ・ 環七通り渋滞の改善、車線増やしていただきたい。
子どもや高齢者のための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が多いので、自分で移動しやすい道を作ったらどうか。例えば、なるべく高低差のない歩道など。 ・ 大森駅北口などエレベーターもエスカレーターも無いところへのエレベーター設置。 ・ 子どもたちが楽しく遊べる空間が増える。
駅前・駅周辺の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大森駅山王口の整備（池上通り、バスロータリー）。 ・ 大森駅のバス停を東口に統一し、自転車専用レーンを作り、歩行者と自転車を分離。 ・ 大森駅前のアーケード商店街近辺を整備すべき。
自転車道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環七、15号線などの車道、自転車通行の危険度は大きいので、自転車専用道路の整備を。 ・ 自転車の歩道走行を制限できるルールがほしい。
公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑を多く道路沿いに植えて季節毎に楽しめたり目で見ても癒されたり、ヒートアイランドの軽減に繋げてほしい。 ・ 緑豊かで快適なまちづくりを目指すのであれば小さな公園にも目を向けていただきたい。 ・ 緑地の多様化、広域化。
交通ルール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の歩道走行を制限できるルールがほしい。
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害が起きた時、役所の建物を避難場所として開放してほしい。 ・ 地下シェルターの設置を大田区が先端のモデル事業となる。
駐車場・駐輪場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと駅前の駐輪場を増やした方がいい。 ・ 商店街に駐輪場を設けてもらいたい。
観光機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨海地域への交通機関をより充実すれば他区からの来訪者も増える。 ・ 住居表示実施によって失われた旧町名を、例えば区設掲示板や観光案内サインなどに記して、後世へ残していただきたい。

■蒲田地域の主な自由回答

災害に強いまちづくりや公園・緑地の整備等、安全安心の空間づくりに関する意見が多かった。

<p>災害に強いまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川の水害に対する堤防の強化。災害による避難所のプライバシーをまもる為に間仕切り、段ボールベッド、トイレの確保。 水害に強い街造りを目指し、ハザードマップに基づき洪水発生時の浸水水位の表示や避難路の明示を進める。町内会を活用し避難訓練等定期的に実施する体制を確保。 雨災害の時に避難できる場所が無い。どこに避難すれば良いのかが分からない。
<p>公園・緑地の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> バーベQができる公園を作してほしい。 老若男女が、それぞれ楽しめる大型公園、遊歩道など、ゆっくり散歩したい気持ちになる環境になって欲しい。 コロナもありますし子供が密にならずのびのびと遊べる公園が欲しい。
<p>駅前・駅周辺の利便性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 蒲田駅西口タクシー「のりば」の屋根が短いのもう1つ追加しては？これはバス「のりば」も同様。 JR 駅周辺の浄化、清潔感、歩行の安全性。 大田区役所本庁と蒲田駅に直通通路を作してほしい。
<p>子どもや高齢者のための環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在高齢者、足の不自由な方が足を止め気軽に座れるベンチも少なく、ガードレールのあるところで身体を傾け立ち止まっている人を見かける。 高齢者も大切だが、同じくらい子供がのびのびと過ごせる、遊べる場所を拡充してほしい。 子供達の遊べる場所が少ない。どの公園も密。
<p>駐車場・駐輪場の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅、商店街の自転車での買い物のための駐輪場の新設。 放置自転車の問題解決する為に、駅周辺の駐輪場の整備、新設が必要。
<p>道路・歩行者空間の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 蒲田周辺の自転車のマナーが大変悪く、歩行者、自転車の道路（歩行者）区別できるようにしてほしい。 狭い道で歩道が電柱に塞がれているところが多々ある。 道路の段差があり道幅も狭く、車椅子にはとても無理。
<p>水辺の有効利用・整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 土手（多摩川）の桜の木をもっと大切にしてほしい。 大田区は「湾岸の緑豊かな街」になる、ベイサイドのすべての都市にとって良いモデルになる。 多摩川に遊水池を作してほしい。
<p>子育て支援施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代、DINKS 世代の転入を促進する施策として、保育園の更なる整備や子ども向け施設や企業誘致、多摩川土手の有効活用など住・職・楽の囲い込みが効果的。 赤ちゃんを安心して産めるママが集まるスペースを造る、子育てを相談できるスペースを造る。 児童館が場所によってレベルを揃えて欲しい。
<p>脱炭素社会に向けた整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電、風力発電、波力発電、地熱発電などの発展のために力を入れてほしい。 バイオディーゼルや再生エネルギー開発している企業と連携してモデル都市になる。 緑（サステイナビリティ）・エネルギー・スマートシティ・AIなどは力を入れても良い。

■多摩川沿い地域の主な自由回答

災害に強いまちづくりや水辺の有効利用・整備等、多摩川沿いの安全確保と活用に関する意見が多かった。

災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川河川敷六郷水門近辺の復旧を急いで欲しい。 多摩川の水害対策と、災害時のライフラインの確保を強化してほしい。 多摩川の増水時に決壊や氾濫しない対策。
道路・歩行者空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の段差の解消と道幅の確保。 JR 蒲田駅と京急蒲田を動く歩道とかで繋げないか？ 雑色のバス通りの視覚問題。他区から越して来て3年経つが今でも怖くてバス通りを歩くのに緊張する。 歩道と車道が狭い、特に雑色のバス通りや、六郷上手駅前など危険すぎる。
水辺の有効利用・整備	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川の洪水対策と河川敷の利用を再度点検してほしい。例えばオープンコンサートなども素敵だと思う。密を避けたい今、河川敷のスペースを有効につかいたい。 河川敷近くに、住んでいますが、河川敷近くにお洒落なカフェを作ってもらいたい。河川敷にバーベキューを楽しめるスペースや子供が楽しめる親水公園、ビオトープなどが整備されたら愛着を持ってここでの暮らしを楽しめると思う。
無電柱化	<ul style="list-style-type: none"> 電力線ケーブルの地下敷設。 電線の地中化。
交通ルール	<ul style="list-style-type: none"> 自転車は軽車両にもかかわらず、歩道でスピードを出して走行、横断歩道で止まっている車の脇から歩行者を無視して、猛スピードで走り出るなど危ない思いをすることが多い。
公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> 大人も楽しめる、落ちつける緑がない（世田谷等も参考にしてほしい）。 地域の小さな公園の砂場全てに柵をつけて子供が安全に遊べる場を作って欲しい。 木の種類も少なく、木の種類を書いた看板などもなく、公園としての工夫が必要だと思う。
新空港線の整備	<ul style="list-style-type: none"> 蒲蒲線により、羽田 AP へのアクセスを便利にしてほしい。
地域交流拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> 弱体してきた地域コミュニティが活性化する施設の構築。 公共施設や商業施設などの混雑度が分かるダッシュボードの構築。
子どもや高齢者のための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 街中における休憩場所・腰掛ける所が少ない気がする。 高齢者の暮らし易いまち、多くの世代の人々がふれあえる環境造り。

■ 梶谷・羽田地域の主な自由回答

子どもや高齢者のための環境づくりや公園・緑地の整備等、多世代が楽しめる環境づくりに関する意見が多かった。

子どもや高齢者のための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 道路工事の後、段差ができていて躓きやすく、足に不安のある高齢者には危険。最後、平らにキレイに仕上げたい。 子供から高齢者まで、安心安全に暮せる町づくり。 未来に向けての魅力ある学校施設作り。
公園・緑地の整備	<ul style="list-style-type: none"> 看板を置くなど清掃だけでなく利用者がゴミを捨てない環境づくり。 公園でもっと子供達が伸び伸び遊べる環境作り。 公園の設備など、子どもを遊ばせる場所も定期的に遊具を新調するなどメンテナンスしてほしい。 小さい子供向けの公園や、小学生向けの公園などバリエーションがあるとありがたい。
公共交通網の充実	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川土手沿いのミニバスの運行を検討してほしい。 将来的に区内で、自動運転バスや自動運転タクシーなど導入できるよう今から取り組みをお願いしたい。
災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 災害時などの緊急車両の行き来を考えると、電柱の地中化が急がれるのではないかと。 不燃化特区以外の地域で、ちいさな単位での木造未接道の土地の共同化が行える、住民向けのスキームが必要。
新空港線の整備	<ul style="list-style-type: none"> 大田区内の移動が不便な面があるのでやはり蒲蒲線は実現させてほしい。 京急蒲田駅の地下ホームから高架ホームへは空港などで整備されている大型エレベーターを整備すれば良いのでは。
交通ルール	<ul style="list-style-type: none"> 環八沿いや産業道路沿いの歩道を自転車と歩行者に区分しても、全く守られていない。
自転車道の整備	<ul style="list-style-type: none"> 自転車が安全に走行できるレーンを完備してほしい。
観光機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 区内に観光資源が少なく、観光、都外から仕事で来られたなどが、留まるような場所も無い。 海外からの旅行者にもわかりやすい街作り。

